

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

○令和4年度 第1回「健笑庵いくま」運営推進会議

対象事業者名 : (有) ケアサポートことぶき「健笑庵いくま」
 サービス種類 : 地域密着型通所介護事業所
 開催日 : 令和4年7月27日(水) 午後2時30分
 開催場所 : 健笑庵いくま
 出席者 : 9名

《内訳》

事業所(担当者)	3名	利用者	1名
利用者家族	1名	地域代表者	2名
松江市職員	0名	包括支援センター	1名
知見を有する者	1名	その他	0名

【議事・議題】

1. 活動等の状況

①通所事業の現状

- ◆登録者数(令和4年6月現在): 18名(うち男性1名、女性17名)
- ◆介護度別利用者数《サービス区分、介護度別の状況: 令和4年6月現在》

総合事業 通所サービス	該当者	1名	地域密着型 通所介護事業	要介護1	6名
	要支援1	2名		要介護2	7名
		(内、緩和型:1名)		要介護3	0名
	要支援2	2名		要介護4	0名
(内、緩和型:2名)		要介護5		0名	
制度外(実費)利用者	1名	申請中	0名		

◆各月利用数

令和4年 1月	158名	令和4年 4月	144名
令和4年 2月	114名	令和4年 5月	152名
令和4年 3月	148名	令和4年 6月	139名

②活動報告

- ◆誕生会 (誕生日の一番近い利用日に実施)
- ◆レクリエーション (季節に合わせたものや、要望に応えたもの)
 - ・新年会 ・曜日対抗ゲーム ・ひな祭り ・節分豆まき ・桜花見
 - ・節句 ・鯉のぼり作り ・芝桜見学
 - ・壁画作成 ・玉入れ、ビンゴゲーム大会

③日曜デイサービス(月1回、日曜日開催)

開催月	活動内容	参加人数
令和4年 1月	新年会 福笑いゲーム	8名
2月	新型コロナウイルス感染症の予防対応として中止する。	-
3月	プラ板キーホルダー作成・ビンゴゲーム大会	7名
4月	大根島菜の花鑑賞・本庄道の駅にて買い物	8名
5月	八雲鯉のぼり見学・映画鑑賞	7名
6月	玉湯「おもじろ釜」にて温泉卵作りと買い物	6名

④その他活動

- ・防災訓練（1回/月） ・脳トレ（漢字、計算、都道府県当て、ことわざ等）ドリル ・塗り絵
- ・洗濯物（おしぼり、タオル）たたみ

2. 相談および苦情受付状況・事故報告（対象期間：令和4年1月～6月）

①〈事故事例〉

○朝食後薬の重複服用

【状況】

令和4年1月 該当の利用者は家族様と二人暮らし、週2回利用されている。申し合わせとして、利用日の朝食後薬は事業所で保管して、来所後に服薬の支援を行っている。この日は、利用前日に積雪に関する気象警報が発令されたことを受け、家族様に迎え時間の遅滞の可能性を連絡した。当日、積雪の影響はなく、通常通りの時間帯で送迎し、来所後、朝食後薬を服用する。昼前、家族様に別件で連絡を入れると、本日、デイが休止すると思ひ、出勤前に朝食後薬を服用させたとの報告。このタイミングで朝食後薬が重複されたことが判明する。

【対応】

服薬の重複が判明後、本人のバイタル及び体調を再確認、特変のないことを確認する。同時に担当ケアマネージャー（以降、CM）に報告する。主治医の指示を仰ぐ為に病院に連絡するが午後より休診のため連絡取れず、処方薬局に相談した。血圧変動はあるかもしれないが問題ないと思われるとの回答。念のため夕食後薬は中止し明日にでも主治医の指示を仰いで欲しいとの回答がある。家族様にご本人の体調と薬局からのコメントをお伝えする。また、夕食以降、特変ある場合は日赤病院に受診をしてもらうようお願いした。明朝、利用者様のご様子を確認すると異常は見られないとのこと。主治医にも改めて昨日からの経緯を報告し、経過観察の指示を受ける。家族様、担当CMにも連絡を行う。翌日以降も体調に変化はみられていない。

【再発防止に向けて】

家族様との連携に対しその関係性を深めることと伝達や連絡の方法の充実を図り協力関係を築いていく。この度の事は、先ず天候等による送迎時間や事業所の対応などが確実に家族様に伝わっていないことに起因している。今後、家族様との相互連絡の方法（連絡帳の活用など）や連携について確認を行う。

②〈相談及び苦情受付〉

○受この期間に受付の状況無し

③〈ヒヤリハット対象事例〉

○この期間に事例無し

3. 研修会および勉強会等

【外部研修会】

実施日	研修会・勉強会内容	参加人数
R4.2.25	令和3年度介護保険事業集団指導（前半）：オンライン参加	2名
R4.3.15	令和3年度介護保険事業集団指導（後半）：オンライン参加	2名

【内部研修会】

実施日	研修会・勉強会内容	参加人数
R4.1.17	事例検討会（事故事例の検証について）	3名
R4.4.22	事例検討会（移乗介助の方法について）	3名
R4.5.18	事例検討会（排泄介助について）	3名
R4.6.3	事例検討会（入浴対応について）	3名

4. ボランティア受入の状況

- ・この期間での受け入れ実績無し。

5. 業務継続計画（BCP）の策定に関わって

この度の新型コロナウイルス感染症や近年の大雨や大雪などの気象の影響による自然災害など、私たちが過去に経験したこともない、私たちの予測を超えた感染症や自然災害の脅威が身近に感じられるようになってきました。このような中で、令和3年度介護保険法の改正に伴い、当事業所を含む、すべての指定介護事業所では、感染症や自然災害等の発生時において、利用者に対するサービスの提供を継続的に実施するため、また非常時の体制で早期の業務再開を図るための「業務継続計画（BCP）」策定し、それに従い必要な措置として、研修や訓練、また計画の修正など平時からの備えを行うよう

義務化（令和6年3月31日迄は努力義務）されています。弊社ではこれを受け、令和5年度中の計画策定の完了を目指し取り組んでいるところです。策定の内容項目、また策定上の課題は以下の通りです。

○策定内容

①感染症に係る業務継続計画

- a 平時からの備え：体制の整備、感染防止に向けた取組、消毒液や防護用品の確保など
- b 初動対応：感染確認からの対応手順など
- c 感染拡大防止体制の確立：保健所との連携、濃厚接触者への対応、関係所との情報共有など

②災害に係る業務継続計画

- a 平常時の対応：建物や設備の安全対策、必要品の備蓄など
- b 緊急時の対応：対応体制など
- c 地域及び関連機関との連携：避難や救助支援の連携体制など

③研修について

- a 業務継続計画について職員間で共有
- b 災害に対する知識と備えの理解の励行
- c 感染症予防とまん延防止のための研修の機会

④訓練について

- a 計画に基づく役割分担の確認、実践するケアの演習を行う
- b 年一回以上の定期的開催

○『健笑庵いくま』における、策定上での課題及び問題点

- ①従業者数が少数のため、体制上の役割分担が兼務重複する。
- ②また従業員の代替えや緊急補充に限界があり、災害時のケア体制が不十分である。
- ③通所介護の単独サービスのため事業所内での支援には限界があることから広範囲での情報共有が必要となる。
- ④災害状況やその程度により、段階的な体制構築が必要となることから策定が複雑多岐に及んでいる。
- ⑤弊社、事業規模に応じた実施可能な計画査定が必要である。

6. コロナ禍における通所介護事業のあり方について

新型コロナウイルス感染症は2020年（令和2年）1月に国内での感染者が初めて確認され、今日に至っているところですが、まだまだ終息を見ないのが現状です。松江市内においても7月に入ってから連日100人を超える数の感染者が報告されています。高齢者介護施設などの集団感染の報告も多数聞かれています。そのような中で、当事業所においても、介護事業所という事業の性格から、感染症の影響からサービスが途切れることがないように徹底した感染予防とご利用者及び家族様と情報を共有し、連携を基本にした感染対策を継続してきました。皆様のご理解とご協力のお蔭で、現在まで事業所内での感染は発生しておりません。これからも徹底した感染予防に努め、感染の起因とならぬように厳重に対応したいと思っております。また活動内容については、感染症の流行以降、外出や外食、またボランティア等の受入れなど主に地域交流の機会が失われてきた現状があります。新型コロナウイルス感染症の問題は長期化となり、予防策としてマスクの着用や手指消毒、他者との接触の状況など確立されています。そのことから感染対策徹底した上で、地域交流の機会を徐々に増やしたいと考えています。

7. 新型コロナウイルス感染症や市場の価格高騰による通所介護事業運営への影響について

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い通所介護事業への影響は、利用控えなど顕著に現れています。また、感染症の問題が長期化になる中で新規利用者の問い合わせも減少し事業運営上、大きな課題となっています。またそれに合わせ、昨今のガソリンなど原材料の価格高騰や食料品など、日常生活に係る多くの製品の価格高騰が、この問題を更に深刻なものとしています。通常、通所事業の売上の大半が介護報酬によるものです。根底にはこの介護報酬が制度的に定められていることから、市場の情勢が適宜反映されるものではないということがあげられます。今年度、当事業所ではその事への対応策として以下通り、変更や改善を行い取り組んでいます。ただし、根本的な問題の解決には一人でも多くの皆様にご利用頂くことだと認識しております。更なるサービスの質の向上を目指していく所存です。

○対策として

①運営の効率化

- a.営業日の集約：週6日（月～土）営業を週5日（月～金）営業に変更
- b.入浴サービスの集約：一日の入浴利用者を一定に設定

②食材費の変更（値上げ）

- a.650円から690円（令和4年7月利用分より）

③サービスの質の確保

- a.レクリエーション活動の充実：クイズや歌唱など日課として取組
- b.日曜デイサービスの充実：活動（調理、外出など）と昼食（弁当の内容など）皆様の意見を参考にする

8. 報告に対する質問意見及び要望

〈意見・要望〉

○活動等報告に関わって

- ・包括のCMで紹介され通いだしました。出かけるようになって仲が良い話友達ができ、利用日を楽しみにしています。職員の支援が適切であると感じています。[利用者家族]
- ・週1回利用させて頂いています。いろいろな方と交流ができるので楽しみにしています。[利用者]
- ・レクリエーション活動については、色々と工夫されて活動されていると感じます。[地域民生委員]
- ・コロナ禍で活動に制限があると思いますが感染防止対策を行いながら活動をされ感心します。[地域寿会会長]
- ・曜日対抗ゲーム大会や毎月季節に合ったゲームで楽しんでいる。また歌や脳トレなど皆さんと賑やかに過ごしている。外出する事が楽しみなのでまた実施して欲しい。また、日曜デイサービスは、コロナ禍で以前のように外出することが減ったが、何時も楽しみにしています[利用者]
- ・入浴時、浴槽の出入りや洗身など身体状況もみてもらえて安心している。[利用者]
- ・業務継続計画（BCP）の策定について、事業所に合うBCPの策定が難しいと感じている。新型コロナウイルスの感染予防に関わる取組など、一施設だけではなく、クラスター発生時の利用者、職員の応援体制も必要かと考えます。[介護事業所理事長]
- ・コロナ感染対策に関わって、家庭内感染が一番危ないと思うので家族も気を付けています。[利用者家族]
- ・コロナ感染対策は、引き続き、ご家族と連携しながら感染予防に取り組んでいただけたらと思う。コロナ禍において、介護サービスの利用にも影響がみられており、デイサービスの利用なども感染するのが怖いので外出をためらう意見も多くなっている。また受入れの状況としてケアマネージャーの人手不足の現状を感じている。[包括支援センター]
- ・コロナ感染対策として、来所時も手洗いやうがい、消毒して予防に取り組んでいる。[利用者]

〈質問〉

- ・Q：前回と比べ、利用者が減少しているのは何故か。また、利用者の獲得方法はどのようにしているのか。[地域民生委員]
 - A：利用者減少については新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用を自粛される方や、新規ニーズの減少などが大きな要因と考えているが、当方の責任としてサービスの内容や質の問題も少なからずの原因として真摯に受け止めて、点検、改善に取り組んでいる。また、新規利用者については地域支援センターや各居宅介護支援事業所から紹介を受ける形となっている。最近では利用者本人やその家族様が直接ご連絡いただくことはなくなっている。

〈その他の意見、要望〉

- ・これから益々、高齢者人口が増えこのような施設が多くあると思いますが、また機会にでも松江市の全体の施設数や70歳以上で介護サービスを受けている方の数などのデータを教えて欲しい[地域寿会会長]

※事業所確認欄

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
<input type="checkbox"/> 要望・助言等受ける機会を設けたか。	○